

答辞

厳しい冬の寒さも和らぎ、吹き渡る風にも、春の訪れを感じられる季節となりました。

本日は新型コロナウイルス流行の中、私たち卒業生のために、このような盛大な式典をご用意してくださり、誠にありがとうございます。

また、この卒業の日を迎えるにあたり池上学長を始めとする先生方、並びに関係者の皆様、そして保護者の皆様に、卒業生一同、心より厚く御礼申し上げます。

振り返ると瞬く間に過ぎて行った四年間でしたが、楽しいこと、そして、苦しいことも沢山ありました。様々な面で困難に直面した時、どんな時でも一緒に悩み、進んでくれたのは、この学生生活で出会った、多くの人達です。

授業はもちろん、何の相談をしても親身に寄り添い、励ましてくださった先生方。専門的で難しい授業、実験やレポートなどを共に乗り越えてきたコースの同輩達。初めての研究で、悩むことも多かった時には、様々な面で協力してくれた研究室のメンバー。ものづくりにおいて、楽しい時も、苦しい時も、一番時間を共有したNiASプロジェクトの仲間達。学内、学外関わらず、色々なところで支えてくれた友人たち。この四年間で出会ったすべての人が、誰一人欠けても、今の私はなかったと思います。感謝の念に堪えません。

また、私たちが二年生の春休み頃から、新型コロナウイルスの感染拡大の影響が顕著に表れてきました。当時はこの影響が、まさか今日まで続くとは予想もしていませんでした。できない事も多数あり、悔しい思いやつらい思いをした事もありました。しかし、出来ないからと言って全てを諦めるのではなく、今できる事を最大限やるしかない、という事を学ぶことができた期間でもありました。今日の社会では新型コロナウイルスの流行以外にも、社会情勢の悪化や自然災害など、様々な問題が思いがけない場所から発生しています。程なくして、私たちはそれぞれの道を歩み始めます。進学する者、就職する者様々ですが、予期しない問題や困難に直面した時には、この期間で学んだ事や、考えた事、そして、長崎総合科学大学で過ごした時間と経験を自分自身の力と

して、諸問題に挑んでまいります。

最後になりますが、先生方並びに大学関係者の皆様、保護者の皆様に重ねて感謝を申し上げますとともに、皆様方のご健勝とご多幸、そして、長崎総合科学大学の更なる発展を心よりお祈り申し上げます、答辞とさせていただきます。

令和四年三月十五日

長崎総合科学大学

学部生代表 坂田 尚慶